

テトス書

九	八	七	六	五	四	三	二	一										
ひ逆ふ者を言伏することを得んためなり。	を守る者たるべし。これ健全なる教をもて人を勧めかつ言	し、謹慎あり、正しく潔く節制にして、教に適ふ信ぜべき言	ず、恥づべき利を取らず、反つて旅人を懇ろに待ひ、善を愛	く、ほいまいならず、軽々しく怒らず、酒を嗜まず、人を撃た	たるべきあり。それ監督は神の家司なれば、責むべき所な	また放蕩をもて訴へらるゝ事なく、服従せぬことなき信者	なり。長老は責むべき所なく、一人の女の夫にして、子女も	る所を正し、且わが命ぜし如く、町々に長老を立てしめん為	我が汝をクシテに残し置きたる故は、汝をして缺けた	と汝にあらんことを。	仰によりて我が眞實の子たるテトスに贈る。願くは父なる	神及び我らの救主キリスト、イエスより賜ふ恩恵と平安	の救主たる神の命令を我に委ね給へり。我書を同じ信	が、時至りて御言を宣教にて顯さんとし、その宣教を我ら	あり。偽りなき神は、創世の前に此の生命を約束し給ひし	堅うし、また彼等を敬虔に通ふ真理の知識に達せしめん為	徒となれるは、永遠の生命の望に基きて神の選民の信仰を	神の僕、またイエスキリストの使徒パウロ。我が使

聖書改譯原稿用紙

十

服ふくじやう従じゆせずおほ虚こしき事ことをかた誣ひとり人ひとの心こころをまじ惑ますしもの多おほしこと殊ことに

九

割かた禮れいある者ものの中うちに多おほし。彼かれらの口くちをまじ箱はこがしむべし。彼かれらは

八

恥はづはべき利りを得えんためにに教をしふまじき事ことを教をしへて全家ぜんかを覆くつが

七

へすあり。クレテ人ひとの中うちなる或あるる預よげん言しや者しやいふ

六

「クレテ人ひとは當あたりに虚うつはり偽ごをいふ者もの、あしき獸けものまた懶まじ惰まじの腹はら

五

がユダヤ人ひとの昔むかし話はなしと真まこと理りを棄すてたる人ひとの誠いさしめ命めいとに心こころを寄よ

四

することなく信しん仰かうを健けん全ぜんにせん為ためなり。潔きよき人ひとには凡たふて

三

の物もの潔きよく汚けがれたる人ひとと不信ふしん者しやこには一ひとつとして潔きよき物ものな

二

し、彼かれらは既すでに心こころも良りやう心しんも汚けがれたり。自みづから神かみを知しると言いひ

一

あらはせど其そのの行な為ゐにては神かみを否いなむ。彼かれらは憎にくむべき者もの服ふく

はぬ者ものすべての善よき業わざに就つきて棄すてられたる者ものなり。

聖書改譯原稿用紙

ラトス書

清潔に

ハニテ...
キハ何れがハ...
アキ下...

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四

一 されど汝は健全なる教に適ふことを語れ。老人には
 自ら制すること。謹厳と謹慎とを勧め、また信仰と愛と忍
 耐とに健全ならんことを勧めよ。老いたる女にも同じく
 潔にかなふ行為をなし、人を誇らず、大酒の奴隷とならず、善
 き事を教ふる者とならんことを勧めよ。かつ彼等をして
 若き女に夫を愛し、子を愛し、謹慎と貞操とを守り、家の務
 をなし、仁慈あり、己が夫に服はんことを教へしめよ。これ神
 の言の汚されざらん為なり。若き人にも同じく、謹慎を勧
 め、汝みづから凡ての事につきて善き業の模範を示せ。教
 をなすには邪曲なき事と謹厳と、責むべき所なき健全な
 る言とを以てすべし。これ逆ふ者をして我らの悪を言ふ
 に由なく自ら恥づる所あらしめん為なり。奴隷には己が
 主人に服ひ、凡ての事に於て之を喜ばせ、之に言ひ逆はず
 物を盗まざり、反つて全き忠信を表すべきことを勧めよ。これ
 凡ての事に於て我らの救主なる神の教を飾らん為なり。
 凡ての人に救を得さす神の恵は既に顕れて、不敬虔
 と世の慾とを棄て、謹慎と正義と敬虔とをもて此の世を
 過ぎ、幸福なる望、即ち大なる神われらの救主イエスキリ
 ストの栄光の顕現を待つべきを我らに教ふ。キリストは

聖書改譯原稿用紙

五
 我^{われ}らの^{ため}の^{ため}爲^にに^{おのれ}己^を與^へ給^{へり}是^{これ}われら^を諸^{しよ}般^{ぱん}の^ふ不法^{ふはふ}よ^り贖^{あが}
 ひ出^いだして、善^よき業^{わざ}に熱^{ねつ}心^{しん}なる特^{とく}選^{せん}の^た民^{たみ}を己^{おのれ}が^{ため}に潔^{きよ}め
 んとてなり。なんぢ^{おん}全^まき^ま權威^{けんい}を^{して}此^こ等^らの^{こと}を^誥り、^勸
 め、また責^せめよ。なんぢ^{おん}人^{ひと}に輕^{かろ}んぜらるな。

聖書改譯原稿用紙

テトス書

豊に注ぎたまふ

一 汝かれらに有司と權威ある者とに服し、かつ従ひ、凡て
 二 の善き業を行ふ備をなし、人を誇らず、争はず、寛容にし、つ
 三 ねに柔和を、凡の人に顯すべき事を思ひ出させよ。我らも
 前には愚なる者、嘔はぬ者、迷へる者、さまざまの慾と快樂と
 四 に事ふる者、惡意と嫉妬とをもて過す者、憎むべき者、また互
 五 に憎み合ふ者なりき。されど我らの救主なる神の仁慈と
 六 人を愛し給ふ愛との顯れし時、我らの行ひし義の業には
 七 ようで、唯その憐憫により、更生の洗と我らの救主イエスキ
 八 リストをもて豊かに注ぎ給ふ聖靈による維新にて我ら
 九 を救ひ給へり。これ我らが其の恩恵によりて義とせられ、
 十 永遠の生命の望に隨ひても世嗣とならん為なり。この言
 十一 は信ずべきなればなり、我なんぢが此等に確證せん事を欲
 十二 す、これ神を信じたる者をして慎みて善き業を勧めしめん
 十三 為ふり、斯くするとは善き事にして人に益あり。されど愚
 十四 なる議論、系圖、争鬭、また律法に就きての分争を避けよ、これ
 十五 らは益なくして、虚しきものなり。黒端の者をば一度もし
 十六 くは二度、訓戒して後、これを棄てよ。斯る者は汝の知る如
 十七 く、邪曲にして自ら罪を認めつゝ、尚これを犯すなり。
 十八 我アルテマス、或はテキコを汝に遣さん、その時なんぢ

聖書改譯原稿用紙

善き業を為す
ての事

急いそぎてニコホリあるわが許もとに來きたれ。われ彼處かしこにて冬ふゆを過すごさ

んと定さだめたり。教法けうほう師しゼナス及およびアホ口ねんごを懇ねんごろに送おくりて

乏とちしき事ことなからしめよ。斯かくて我われらの伴とも侶ぢも必要ひつえうを資たすけ

んことを学まなぶべし。是これ果みを結むすば以こ事ことなからん為ためなり。

我われと偕ともに居をる者ものみな汝あんぢに安否あんひを問とふ。信仰しんかうに在ありて我われ

らを愛あいする者ものに安否あんひを問とへ。

頼たのむは御おん惠めぐみなんぢら凡すべての者ものと偕ともにあらんことを。

聖書改譯原稿用紙